

宮本たかし 県政 NEWS

2014
新年号

Vol.14

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話 ファックス **0778-22-6633**



宮本たかしからのご挨拶

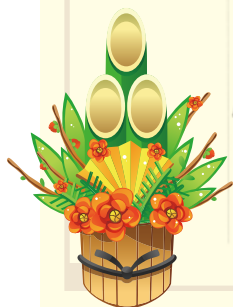
明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのことと心より喜び申し上げます。平素は私の活動に對しましてひと方ほらぬ御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、早いもので前回涙を飲む結果となつてから三年弱の月日が流れました。残り一年、今までの活動の集大成の時期となつてまいりました。今年春までには各地區の後援会の再起ち上げをお願いしている所ですが、皆様お住まいの地域でも集会が開催されると思われますので、是非とも御参加賜りますようお願い申し上げます。今年、活動の成否によつて来年の結果が決まるのは明白な事実であります。旧倍の御支援を伏してお願い申し上げます。

平成二十六年一月一日

宮本 俊



<県政メモその9 提案理由説明～平成25年度12月議会について～>

11月27日、福井県議会12月議会が閉会しました。今議会でも6月議会と同様、補正予算に関わる議案の提出がないという状況でしたので12月議会に関する報告は知事の提案理由説明にスポットを当て少しご説明致します。「知事の提案理由説明」とは、地方自治体の首長が毎期の議会ごとに予算などを中心とした議会へ提出する議案に関し、その提出するにいたった経緯や優先して取り組む事項に関する首長自身の思いを述べるもので、通常議会の初日、議事の審議に先立ち行われるものです。国でいうなら総理大臣の所信表明演説にあたるものという理解で正しいと思います。

そこで今回の12月議会冒頭における西川知事の提案理由説明はどのようなものだったか要旨を紹介し、私なりの解説を記載いたします。青字は知事の発言です

経済政策

今議会で西川知事はその提案理由の中でまず、経済環境についてコメントしています。

「景気回復への期待感も高まり、長期にわたるデフレ経済から脱却の兆しがみえてまいりました。県内経済について見てみますと、9月の中間決算において上場企業11社のうち7社が増収増益を記録しています。しかし、中小企業の景況感、福井商工会議所の景気見通し調査によると、改善は続いているものの、本格的な回復には至ってはいません。最近の動きを賃金改善に結び付け、力強い経済を回復することが必要であります。」

と、国全体の景気回復が地方都市福井にまで波及するには至っていないことを言及。「国全体の経済を飛行機とすれば福井経済はそのタイヤのようなものです。離陸するときが一番最後だが着陸するときが一番早い。」と私も議員時代に経済対策に関して問い質したことが思い出されます。特に原子力発電所の活動が停止している嶺南地域において景気停滞が顕著に見られ、少しでもテコ入れになるよう消費喚起キャンペーン等に関する言及がなされました。

農業政策

「TPPについては、政府・与党において米、麦等の重要5項目の一部で関税撤廃を検討していると報じられています。国会において重要品目が守られない場合は脱退も辞さないとの決議がなされており、国は国民に対し関税撤廃による影響の説明など情報開示を丁寧に行うべきものと考えます。」

とし、政府に対しどうゆう姿勢で臨むべきか、つまり妥協もやむなしか堅持するかについては述べられていません。産業界への配慮も含めたバランス感覚でしょうか。また減反政策の見直しについては

「農家の経営に大きな影響を及ぼすことのないよう、国の検討状況を注視し、生産・流通・販売の各分野の関係者などによる『福井県農業政策等プロジェクトチーム』を設置し、本県農業・農村への影響の分析・検討を行います。」

と、新組織の設置について述べられました。

観光とブランド

「舞鶴若狭自動車道については来年夏までの全線開通を目指しておりますが、開通を機に嶺南・嶺北の一体化、県外からの誘客拡大を検討する『海湖と歴史の若狭路』発信事業実行委員会を先月25日に開きました。」

敦賀と舞鶴を結ぶいわゆる舞若道路については京都方面から福井への入れ込み客の増大という点で非常に意味のある道路だと感じています。1日も早い全線開通が望まれます。

「本県のダントツブランドである恐竜については、恐竜博物館の入館者数は昨年度の入館者数54万人をすでに超え、60万人を大きく上回る勢いとなっております。この集客力を周辺地域へ波及させるため、今年度からキャンプなどの自然体験やまちなか散策を満喫することができる奥越地域での滞在型ツアーを行い、これまでに約1,600人の利用がありました。この冬においても、恐竜博物館に加え、スキー場での雪遊びなど2泊3日間の家族ツアーの開催を予定しています。」

本県最大の観光資源である「恐竜博物館」、福井市をはじめとする県内自治体も「あれは勝山のもの！」なんて小さいことを言わず全県で連携しうまく活用することが望まれます。その為に必要なのは県のリーダーシップです。

「本県を舞台とする、『サクラサク』の映画制作については、来春の全国上映を目指して撮影がこの秋から本格的に始まりました。地元の祭りの再現、映画監督や出演者との交流など、地域全体で支援を行っています。」

最近本県舞台の映画が増えているような気がします。環境営業部による誘致活動も奏功しているのでしょうか？

環境政策

「国は今月20日に開催された気候変動枠組み条約締結国会議(COP19)において、2020年までに温室効果ガスを2005年と比較して3.8%削減する新たな目標を表明しました。県としても、国の地球温暖化対策の方向性を注視しながら検討を進め、県独自の削減目標を定めたいと考えております。」

福島原発事故以来なりを潜めていたCO₂の問題が再燃してきているようです。遅かれ早かれとは思っていましたが、今後の原発行政にどのような影響を与えるのでしょうか。



<平成25年9月補正について>

前述の通り12月議会議案に補正予算が組まれていなかったため前回の議会で決議された9月補正について記述します。9月補正予算の規模は40億円。この結果一般会計の予算は4,810億円となります。昨年2月に経済対策として278億円の補正が組まれていますので、これらを合わせた予算規模は5,088億円、対前年度4.9%増になります。

単位：百万円

会 計	24年度	25年度					
	2月補正	当初予算	9月補正	9月現計	15か月 予算現計①	24年度 9月現計②	伸び率 (①-②)/②
一般会計	27,728	477,068	3,960	481,028	508,755	485,124	4.9%
特別会計	426	13,573		13,573	13,999	13,102	6.8%
企業会計		32,398	50	32,448	32,448	30,364	6.9%
計	28,154	523,039	4,010	527,049	555,202	528,590	5.0%

以下に規模の大きなもの、ちょっと気になったものについて記載します。

1. 北陸新幹線の整備促進

○新幹線埋蔵文化財発掘調査事業：5,200 万円

○福井駅付近連続立体交差事業(えちぜん鉄道高架化)：2 億 3,000 万円 等

福井市の西口再開発に関わる事業が本格化してまいりました。

2. 経済・雇用対策の充実

○嶺南地域の経済振興：6,500 万円

○農業振興策の強化：4 億 2,900 万円 等

嶺南における消費喚起キャンペーンや産業団地整備補助金、LEDを利用した屋内大規模園芸施設による企業の園芸の支援や自然光利用型ハウス整備事業等がここに含まれます。

3. 産業育成事業

○産業活性化支援資金の範囲拡大：14 億円(既決予算)

支援範囲に高生産性、高エネルギー効率設備への更新などへ範囲を拡大

○和紙の恐竜クラフト開発支援事業：78 万円

○炭素繊維革新技术開発事業：3,500 万円(財源は国 100%) 等





9月14日:竣工した
丹南総合公園に新
設された王貞治氏
直筆の石碑



9月29日:本年度から秋に開催となった
神山地区体育祭



10月4日:東京国体、フェンシング会場
(荒川区)に掲示された地元保育園作成の
福井県応援ポスター



11月3日:菊花マラソン開会式にて南小学
校児童による大選手宣誓隊



11月3日:「そうだ村国山へ行こう」の後片
付け。雨でぬれたのぼりを一本一本並べ
干しています。



11月29日:自民党武生支部東京研修の
際にお会いした野田聖子議員



11月15日:越前市競技力向上プロジェク
ト第2段。(株)タニタの小澤智子さんによる
児童参加型セミナー「ジュニアアスリー
トの食について」



12月7日:越前打刃物の職人、清水正治氏
黄綬褒章受章祝賀会